

1. Report No. UMTRI-2014-21	2. Government Accession No.	3. Recipient's Catalog No.	
4. Title and Subtitle アメリカ、イギリス、オーストラリアにおける、自律運転、自動運転車両に関する世論調査。		5. Report Date July 2014	6. Performing Organization Code 383818
		8. Performing Organization Report No. UMTRI-2014-21	
7. Author(s) Brandon Schoettle and Michael Sivak		10. Work Unit no. (TRAIS)	
9. Performing Organization Name and Address The University of Michigan Transportation Research Institute 2901 Baxter Road Ann Arbor, Michigan 48109-2150 U.S.A.		11. Contract or Grant No.	
		13. Type of Report and Period Covered	
12. Sponsoring Agency Name and Address The University of Michigan Sustainable Worldwide Transportation http://www.umich.edu/~umtriswt		14. Sponsoring Agency Code	
		15. Supplementary Notes	
16. Abstract <p>本調査は、英語圏の主要な三カ国、アメリカ、イギリス、オーストラリアにおける、自動運転車両技術に関する世論調査である。18歳以上の1,533人から回答を得た。</p> <p>主要な調査結果（3つの各国に適用できる）は以下の通りである。：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答者の大半は、以前に自律運転や自動運転車両について聞いたことがあり、技術については肯定的な意見を持っており、技術の利益について高い期待がある。 ・しかしながら、回答者の大半は自動運転車両に乗ることについて、自動運転に関する安全性の問題や、実際の運転者の様に機能しないことについて高い心配を示した。 ・回答者は、無人で走行している自動運転車、バスやタクシーなど商業車両の自動運転についても高い心配を示した。 ・回答者の大半は、自身の車にこの技術を有することを望んだ。しかしながら、回答者の大半はこの技術に対して出費を望んでいない。出費を望む回答者の数は、各国で同じ程度であった。 ・女性は、自動運転車両に対して男性よりも高い水準の心配を示した。 <p>同様に、自動運転車両を使用する利益についても、より慎重に考えている。</p> <p>イギリスとオーストラリアの回答者に対して、米国の回答者は以下について、より大きな心配を示した。自動運転車両に乗ること、データプライバシー、自動運転ではない車両との相互関係、自動運転車両の走行が一般の人が運転する車の走行と同じではないこと、そして、自動運転車両の乗車時に人は運転ができないこと。</p> <p>これら三カ国における、運転者や一般市民からの回答で示されたことは、自動運転車両の技術に対して高い心配はあるものの、自動運転車両には肯定的な感覚があり、利益に対する楽観的な期待がある。そして一般的には、この技術を望んでいる。（しかしながら、現時点では回答者の大半がこの技術に対しての追加の出費を望んでいない。）</p>			
17. Key Words 自律運転、自律走行、自動運転、自動走行、世論調査、調査、アメリカ、米国、イギリス、英国、オーストラリア、一般市民		18. Distribution Statement Unlimited	
19. Security Classification (of this report) None	20. Security Classification (of this page) None	21. No. of Pages 40	22. Price